

令和7年度 かながわ学びづくり推進地域研究委託事業(秦野市)

秦野市教育委員会の取組

秦野市教育委員会

研究テーマ:児童・生徒の「学びに向かう力」の醸成

各校の主体的な研究推進を支援し授業改善への意欲向上を図ることを目的にテーマを設定

≪役割≫

推進校の取組の支援、教員の指導力向上、研究情報の共有化・成果の普及、全国学力・学習状況調査等の分析・結果の活用提起

推進校の研究テーマ

渋沢小学校

考えを認め合い、ともに学びを深める児童の育成
～自己肯定感の高まりを目指して～

渋沢中学校

非認知能力に着目した授業改善と園小中一貫教育の推進
～『し・ぶ・さ・わ』の向上を目指して～



「学びの基盤」とは？

認知能力
いわゆる「学力」

非認知能力
自制心、勤勉性、やり抜く力・・・

秦野市では、重要施策として掲げている教育水準の改善向上を目指し、埼玉県や京都市等全国13の自治体と共に、小学校4年生から中学校3年生までの6年間、児童生徒一人ひとりの学習の定着度や学力の伸び、自己効力感等の非認知能力を調査する学力調査に参加し、その結果を基に教育活動を改善していく「学びの基盤プロジェクト」を令和3年度モデル校5校で開始し、令和6年度からは市内22校で展開している。本事業を受託している渋沢中学校区では、小中学校合同での分析検討会を行うなど、小中が一貫して取り組んできた。

特に今年度は、中央教育審議会委員で慶應義塾大学名誉教授の今井むつみ氏をアドバイザーとして招聘し「記号接地を助け、生きた知識を生むためのプレイフルラーニングの理論と実践」というテーマで御指導をいただいていた。今後も、子どもたちの「授業が分かる」「学校が楽しい」という子どもファーストで個別最適な学びと協働的な学びを目指していく。

たつじんテスト
【小学生】

かぜ・かんだるたつじん
【高学年用Aセット アップデート版】

